

リハビリテーション学専修 作業療法学 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

作業療法に関する最新の知識と技術を身につけ、高度なリハビリテーションの一翼を担うことができる。研究により得られた知見を記述して国内外に研究成果を発信し、作業療法の学術進展に寄与できる。修了後は、作業療法に関する教育・研究を継続して推進できること、ならびに保健・医療分野で作業療法を実践し、リーダーシップを発揮することができる。

2年次

【特別研究】

リハビリテーション学特別研究(10)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

保健医療福祉学際英語(2)

高次脳機能と病態制御(2)

【専門科目】

リハビリテーション基盤実践学特論(2)

機能適応支援系作業療法学特論(2)

行動神経作業療法学特論(2)

リハビリテーション学演習(4)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

作業療法の対象に対して実践される、再現性と妥当性が検証された介入と、個別特異性が許容された介入とを理解するための見識を保ち、作業療法と保健医療福祉領域の学術構築を行うための素養を備えていること。